

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名 農山漁村振興推進交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農村振興課 農村支援係 電話番号：058-272-1111(内3158)

E-mail：c11427@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：4,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,500	4,500	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農業従事者の高齢化により耕作放棄地の増加等が懸念されている中山間地域等において、農業生産の維持を図りながら、多面的機能を確保するため、継続的な営農活動等を実施する地域に対して、特色を活かした多様な取組みを支援する。

(2) 事業内容

- ・ 中山間地農業推進対策事業
中山間地域の特色を活かした収益力向上に向けた取組やモデル構築及び農村RMO形成等を支援
- ・ 最適土地利用対策事業
重要な地域資源である農地の有効活用や低コストで農地を維持するための粗放的な利用によるモデル的な取組を支援
- ・ 情報通信環境整備対策事業
人口減少、高齢化が進行する農村地域において、農業農村インフラの管理の省力化・高度化を図り、スマート農業実装促進に向けた情報通信環境整備を支援

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 中山間地農業推進対策事業
全額国庫負担
- ・ 最適土地利用対策事業、情報通信環境整備対策事業
事業メニューにより全額国庫負担または国1/2、事業実施主体1/2等

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	恵那市への補助金（中山間地農業推進対策事業）
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業・農村基本計画『IV 地域資源を活かした農村づくり』」

(2) 国・他県の状況

国の政策目標

都市と農山漁村の交流人口の増加 令和7年度までに1,540万人とし、102億円を概算要求。

(3) 後年度の財政負担

県負担は発生しない。

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村、地域協議会等が事業主体

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

都市と農山漁村の交流人口の増加や地域農産物のブランド化等により農山漁村における所得の向上、地域活性化及び自立化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	終期目標 (R7)	
			達成率	
①中山間地域の集落協定面積（ぎふ農業・農村基本計画）	9,134ha	9,024ha	9,150ha	98.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>恵那市において市が地域所得向上を目指して推進している取組として、農産物の販売を通じた農業所得の向上、食材のブランド化を図る「たべとるマルシェ」の開催、生産者と消費者をつなぐポータルサイトの運用を行い地域の振興を図った。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	農林業が基幹産業となっている農山村地域の活性化を図るためには、特色を活かした取組に対する支援が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	事業実施年度の翌年度より事業評価を行い、事業の有効性を確認している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	これまでに、国及び県において事業を評価し、事業の見直し等が行われ、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 中山間地域では少子高齢化の進行、経済的な停滞、都市部に比べ遅れた生活環境の整備などから地域の活力が低下しているため、今後もニーズに応えた施策を進める必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 中山間地域の活性化には、収益性の高い農畜産物の生産・販売化等により、所得の確実な向上及び維持管理の省力化等を図ることが必要である。そのため、地域の創意工夫による活性化計画の目標に対する活動を支援し、活力ある中山間地域農業の実現を目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	